

BB 通信 現地レポート

多収米専用一発肥料「九州ライスパワー3055」

@福岡県 JA ふくおか八女管内および大分県 JA おおいた管内 試験展示圃場

福岡県 JA ふくおか八女管内の法人長峰様、および大分県 JA おおいた北部事業部管内の法人豊後農興様、JA おおいた豊肥事業部管内の法人ひむき様の圃場で試験頂いている、多収米専用一発肥料「九州ライスパワー3055」（製造：九州管内 BB 工場）の試験展示圃場の様子と、実際に BB 肥料を使用した生産者の皆様の感想をお伝えします。

【福岡 法人長峰様圃場】（供試肥料：ライスパワー(WCS 向け設計)、作付け品種：たちすずか)

福岡県南部に位置する八女市宅間田地区にて、水稻（WCS は約 16 ha）、麦、大豆、いちご、その他にも多岐にわたる作物の生産に取り組まれています。WCS 栽培においては、耕畜連携で堆肥と硫安を施肥していますが、近年は収量の伸び悩みもあり、今回の BB 肥料に期待を寄せられています。

8 月および 9 月に、職員が訪問した際には両区に生育差は見られませんでした。今後、収量調査を予定しており、その結果をふまえて、来期に向けた検討を生産者・JA の方としっかりとこなしていきます。

試験区	慣行区
 <p data-bbox="209 1451 775 1480">幼穂長から出穂期予測する福岡県本部久保職員</p>	

【大分 法人豊後農興様圃場】（供試肥料：ライスパワー、作付け品種：ほむすめ舞）

法人豊後農興様は、大分県北部に位置する豊後高田市にて、水稻、麦、大豆、小葱などの生産に取り組まれています。BB 肥料試験区では「ほむすめ舞」が作付けされています。例年と同等の収量を取ればと、今回の BB 肥料に期待されております。

8 月上旬に訪問した時点では、葉色も慣行区と同等ではありましたが、慣行区について、中干しが十分にできなかったことから、倒伏の懸念など今後の生育に心配されている様子でした。

【大分 法人ひむき様圃場】（供試肥料：ライスパワー、作付け品種：ほしじるし）

法人ひむき様は、大分県南西部に位置する竹田市にて、水稻、にんにくなどの生産に取り組まれ

ています。BB 肥料試験区では「ほしじるし」が作付けされています。

8月上旬に訪問した時点では、葉色については慣行区より高い結果となっていました。一方で、水田雑草の発生が見受けられたことから、今後の生育、収量への影響に懸念を持たれていました。

その後、9月になって両法人様の圃場で収穫調査を行いました。ライスパワー区は慣行区と比べ、明瞭な差はみられず、概ね同等といった様子でした。今後、来期のすすめ方について相談させて頂く予定です。



表1 「九州ライスパワー3055」の銘柄設計

銘柄名	N		P	K
	速効性	緩効性		
九州ライスパワー3055	12	18	5	5



今回お邪魔させていただいた生産者の皆様とも、「BB肥料だから」といって、普段お使いの肥料と違いを感じることなく、普段通り施肥ができたとのことでした。今後、「九州ライスパワー3055」は多収米、飼料米を中心に普及していくこととしています。普及にあたっては、多収米作付けを推進している米穀部門との連携を強化して進めていきます。このような取り組みを通じ、資材コストの低減や収量向上による生産者の皆様の手取り最大化に向けた活動を進めていきます。

(令和3年9月 全農九州営農資材事業所)